

# Visit Japan Seminar & Business Meeting 2016 in HCMC

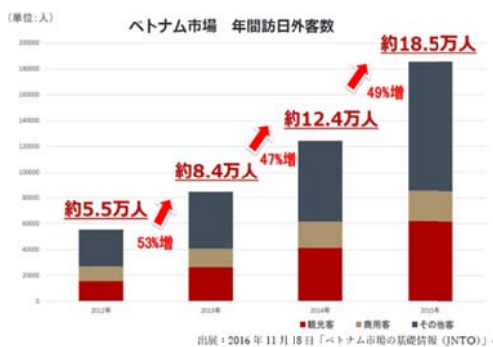
## ～前年比 1.5 倍！ 増え続けるベトナム人訪日観光客～

シンガポール事務所

2016年11月18日(金)、ベトナム・ホーチミン市において国土交通省観光庁及び日本政府観光局(以下、JNTO)バンコク事務所主催により、日本側インバウンド関係者とベトナムの旅行会社等を対象とした訪日旅行セミナー・商談会「Visit Japan Seminar & Business-Meeting 2016 in HCMC」が開催されました。

クリアシンガポール事務所は本セミナー・商談会に所員を派遣しましたので、当日の様子をもとに、現在のベトナム訪日旅行市場の動きなどについて報告します。

### 1. ベトナム訪日旅行市場の概要



南北に長い国土を持ち、人口約9,350万人を抱えるベトナムは、積極的な外資導入政策による経済活性化と旺盛な個人消費に下支えされ、好調な経済成長を維持しています。訪日旅行市場も活況を呈しており、JNTOの発表によると、2015年の訪日ベトナム人数は前年比49%増の

約185,000人と過去最高の数値を記録し、2016年1月-10月期では既に前年を超え約200,000人が日本を訪れています。2016年年計では約240,000～250,000人となることが見込まれます。

### 2. ベトナム訪日旅行市場の特徴

近郊のタイやシンガポールへの海外旅行経験はあるものの、日本は初めてという訪日観光客が大きな割合を占め、東京・富士山・大阪・京都などのゴールデンルートを旅行会社でのフルパッケージツアーで周るのが一般的となっています。しかし、徐々にではありますが、ゴールデンルート以外の場所、例えば白川郷や御殿場アウトレット、名古屋城を周るような特色のあるツアーやインセンティブツアーの実施も増えつつあります。

訪日旅行時期は桜、紅葉が見られる4月と10月がピークとなっていますが、これはベトナムのホリデーシーズン（夏休みのある6～8月と旧正月のある1月下旬）とは、ずれています。そのため、今後、訪日旅行の裾野が広がれば、夏や冬の訪日旅行客も増やすことができると考えられます。

### 3. ベトナムの旅行会社と旅行業界

査証申請については段階的に緩和されてきていますが、2014年11月から「指定旅行会社」においてパッケージツアー用一次観光査証（一回有効の査証）の発券が可能となりました。指定旅行会社とは、在ベトナム日本国大使館又は在ホーチミン日本国総領事館が指定するベトナムの旅行社で、ハノイに55社、ホーチミンに73社あります。今回の商談会参加者もほとんどが指定旅行会社でした。

さらに、ベトナム旅行社228社の加盟する「ベトナム旅行業協会（VISTA）」という組織のうち、訪日誘客を扱う旅行社の集まる部門である「ジャパン・アウトバウンド・トラベルクラブ（JOTC）」には45社が加盟しています。

旅行社の数が多く、どこに声をかけたらいいのかわからないという声が多くあるそうですが、指定旅行会社やJOTCに積極的にアプローチをかけていくことが重要となります。それぞれの加盟会社については、在ベトナム日本国大使館

[http://www.vn.emb-japan.go.jp/jp/consulate/jp\\_Vietnam\\_tourist\\_company\\_list2014.html](http://www.vn.emb-japan.go.jp/jp/consulate/jp_Vietnam_tourist_company_list2014.html)）および在ホーチミン日本国総領事館

[http://www.hcmc.gj.vn.emb-japan.go.jp/visa/20141120\\_shitei\\_ryokou\\_dairiten\\_oshirase.html](http://www.hcmc.gj.vn.emb-japan.go.jp/visa/20141120_shitei_ryokou_dairiten_oshirase.html)）のホームページをご参照ください。

### 4. 今後のプロモーション展開



今回の商談会には、ベトナム旅行会社が43団体、日本側インバウンド関係者（自治体や旅行会社、宿泊施設、鉄道・バス・クルーズ会社、不動産会社、飲食店など）が42団体参加しました。両参加者は、1ターム15分という短い時間の中で、地図やパンフレット、映像など

を駆使しながら、地元の料理やお祭りなどをPRしていました。

今後、初来日層の拡大や訪問先の多方面化を図るためには、旅行博出展やキャンペーン、ベトナム語によるSNSの活用など消費者向けの情報発信に加え、今回の商談会のようなビジネスマッチングの機会がとても重要になります。

安定した経済成長、航空便の増加、査証緩和、人口の多さ、日本への関心の高さなど、ベトナム人の訪日市場のポテンシャルは高く、引き続き拡大を続けていくとみられています。現在の課題解決に向けたプロモーションの展開を図ることで、さらなるベトナム人訪日観光客の増加が期待されます。

#### Visit Japan Seminar & Business Meeting 2016 in HCMC 概要

開催都市名	ホーチミン
日時	2016年11月18日(金) 11:00~17:00
場所	GEMセンター
主催	国土交通省観光庁、JNTOバンコク事務所
対象	ベトナム国内旅行業者
日本側参加者	42団体 (自治体・関連団体、旅行会社、宿泊施設、交通運輸など)
ベトナム側参加者	43団体(主に旅行業者)

(朽網所長補佐 埼玉県派遣)